

第5回効果をあげる理学療法技術としての装具療法を考えるフォーラム 演題募集要項

以下の要領で演題募集をいたします。皆様奮っての応募をお待ちしております。

■演題登録期間

令和1年9月17日（火）～令和1年11月15日（金）

■発表形式

「口述発表」のみとします。発表10分、質疑応答5分でパワーポイントを使つての発表になります。スライド枚数は問いません。

パソコン環境として、OSはWindows、ソフトはPower pointを準備いたします。文字化けを防ぐために、フォントはOS標準フォントをご使用ください。

動画とWindows以外のOS（例：Mac）を利用される場合は、各自でパソコンと変換コードをご持参ください。会場では変換コードのご準備がございません。

■募集演題数

3題

■応募資格

① 筆頭演者は演題登録の時点で公益社団法人日本理学療法士協会会員であることが要件です。

② 本会の会員でない方は、理学療法士免許取得者でも演題登録・発表はできません。

③ 演題登録時に筆頭演者の氏名（フリガナ）、会員番号及び生年月日（西暦）が必要です。演題登録時に一緒に送信をお願いいたします。

■抄録作成

① 病院や施設、在宅等において装具を活用した症例報告を募集します。

② 抄録は800字程度A4用紙1枚です。タイトル、キーワード、本文の順にWordで作成してください。特に書式は定めていませんが、本文は簡潔に内容が把握できるよう【はじめに】【症例記述（症例紹介）】【考察】【まとめ】【倫理的配慮】などの見出しをつけて作成してください。

③ キーワードを3つ程度入れてください

④ 図表・絵は抄録に入れなくてください。

■応募演題に関する倫理上の注意

① ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認ください。特にプライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に必ず明

記してください。参考：<http://dl.med.or.jp/dl-med/wma/helsinki2013j.pdf>

② 原則として厚生労働省の「臨床研究に関する指針」などの医学研究に関する指針に従ってください。[https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000168764.pdf)

[Seisakutoukatsukan/0000168764.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000168764.pdf)（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針）

③ 研究内容にレントゲン撮影や侵襲行為が含まれる場合は、抄録中にそれを施行した人の職種を必ず明記してください。

④ 倫理に関する内容を必ず記載してください。抄録中に倫理に関する記載がない場合、不採択となる可能性があります。

⑤ 演題が採択された場合、当日発表の最初で利益相反(COI)の有無についても意思表示していただきます。

■応募方法

① 募集期間内にメールで応募してください

② 抄録は添付ファイルにしてください

③ メール本文に、名前、所属先、会員番号、生年月日を記載してください。

■採否について

日本支援工理学療法学会運営幹事で査読を行い、結果を12月5日までに通知致します。

※採択された場合には、日本理学療法士協会ホームページ（マイページ）より事前参加登録（12月上旬開始）をしてください。

■問い合わせ

件名に「第5回効果をあげる理学療法技術としての装具療法を考えるフォーラム演題応募」と記載し、発信者名、連絡先（メールアドレス）を明記し下記へご送信ください。

■抄録提出先

件名に「第5回効果をあげる理学療法技術としての装具療法を考えるフォーラム演題応募」と記載し筆頭演者自身が発信してください。本文には、筆頭演者名、所属、生年月日（日本理学療法士学会へ登録するため）、連絡先（メールアドレス及び電話番号）を明記してください。抄録は添付ファイルでお願いします。なお携帯電話のメールは不可とします。提出後5日経っても受理の連絡が届かない場合はご連絡ください。

■送信先

宮原 拓也

上尾中央医療専門学校

E-mail：t_miyahara@acmc.ac.jp

※問い合わせ後、5日たっても返信がない場合は、お問い合わせください。